

### 3. 写真で見る乾草の品質判定

ここでは、今回調査した5草類の輸入乾草19サンプルについて、広角および拡大写真を示します。それぞれに、購入単価と、主な飼料成分の分析値を添えました。

さらに、写真の下に品質判定に関するコメントを示しました。前段は「見た目」からのコメントで、前項で紹介した乾草判定色紙による色調（緑度）、生育ステージ、品質の推定を記述しました。後段は「分析値」からのコメントで、日本標準飼料成分表（2009年版、中央畜産会）に掲載の成分値との比較を中心に示しました。

ひとつひとつが異なる乾草について、品質の見方や判定のコツ、乾草同士の比較など「見る目」を養い、農家現場での品質判定のヒントにしてください。

- ※ サンプル No. 1-8：スーダングラス、No. 9-14：アルファルファ、No. 15-16：エンバク、No. 17-18：クレイングラス、No. 19：チモシー
- ※ 購入単価は、農家への聞き取りによる庭先入手価格です。
- ※ 飼料成分用語

CP	：粗蛋白質
NDF	：中性デタージェント繊維（総繊維）
CF	：粗繊維
NO <sub>3</sub> -N	：硝酸態窒素

参考) 飼料の硝酸態窒素と家畜中毒の関係 (ミラーランド大学)	
乾物中の硝酸態窒素濃度	危険の有無と注意点
0~1,000ppm	どのような状態でも安全。
1,000~1,500ppm	非妊娠牛では安全。妊娠牛では総飼料の50%以下に制限する。
1,500~2,000ppm	総飼料の50%以下に制限する。
2,000~3,500ppm	総飼料の30~40%に制限する。妊娠牛には給与しない。
3,500~4,000ppm	妊娠牛には給与しない。25%以下に制限する。
4,000ppm以上	中毒のおそれがあるので、給与しない。

TDN : 可消化養分総量。飼料分析値に日本標準飼料成分表（2009年版）  
掲載の消化率を掛けて算出した推定値で示します。

- ※ 色調（緑度）の値は、乾草サンプルを実際に見ての判定であるため、写真に写った部分の色の印象、あるいは印刷の色の印象などと、若干のずれを生じる場合があります。

(3) 【エンバク (オーツ) 乾草】 上：広角写真 下：拡大写真



No.15

価格 50 円/kg

乾物中成分

CP 5.0%

NDF 58.9%

粗繊維 30.9%

NO<sub>3</sub>-N 0ppm

推定 TDN 55.0%



色調 35 生育ステージ：結実期 茎が目立つ。

分析値は、日本標準飼料成分表の「輸入乾草エンバク(30%<CF<35%)」に比べて CP が低い。



**No.16**

価格 55.5 円/kg

乾物中成分

CP 4.2%

NDF 57.9%

粗繊維 29.7%

NO<sub>3</sub>-N 0ppm

推定 TDN 57.6%



色調 45 生育ステージ:開花～結実期 緑度からは若いステージと想定されるが、そのわりに子実が脱粒しており、生育ステージがもっと進んでいる可能性がある。

分析値は、日本標準飼料成分表の「輸入乾草エンバク(CF $\leq$ 30%)」に比べて CP が低い。